

# やさしい、風

編集責任/ボランティアコーディネータ：大西ク宮子  
編集協力/キートスボランティアさん

今年度も多くの中学生が体験学習でキートスホームに見えました。立川市立4中、2中、5中、6中、1中、7中（体験順です）。東大和市立4中。このほかに日にちが合わずお断りした学校もありました。

中学生が来ると、初日はお年寄り理解のためのキートス特製ビデオを見てもらい、どうい生活をして、どうい対応をするかを学んでもらいます。中学生が同居しているお年寄りのほとんどが70歳代で若いおじいちゃんおばあちゃんです。80、90、100歳の方とのジェネレーションギャップはいかに・・・

次に車いす操作の指導です。何となくやったこあっても、キチンと教わるのは初めて。

ステッピングバーを踏んで車いすを持ち上げると「きゃー」と悲鳴があがります。ここで「ちゃんとやろう」とスイッチがはいるようです。

関わってくださったボランティア、職員の皆様ありがとうございました。また次年度も受け入れお願いいたします。



## ★1月のギャラリー

- ～1/8 幸町文化祭展示作品展
- ～1/25 特養新年書き初め展
- ～1/14 キートスカルタ展
- 14～29日 矢口照子・卓司陶芸親子展

## ☆2月のギャラリー

- 2日～18日 塚越格治油絵展
- ☆2月19日（土）悠遊セミナー 講演会 詳細は裏面
- ☆2、3月はユニット化工事があります。活動に支障があるかもしれません。情報は分かり次第お伝えします。

お知らせ

ボランティア保険にまだ加入されていない方は是非この機会にどうぞ。

¥500/年が半額の250円です。保険期間は3月末日まで

# ボランティアさんにお願い

## ユニット型特養への変更に伴う今後の予定について



日頃は当施設の事業にご支援ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

今年度、当施設を従来型特養からユニット型特養に変更することになりました。キートスホームは、介護保険導入にあわせ平成12年、時代を先取りした「ユニット型」施設として開設しました。その時点では介護保険に「ユニット型特別養護老人ホーム」という基準がなかったため、個室は全体の3割という制限があり、残りの部屋を複数人部屋（多床室）として建設しました。但し、介護・看護職員

配置は入居者に対して約2:1とし、従来型特養の基準である3:1を超えて配置し、ユニットケアのサービスを提供して以来10年を経過していますが、今後どうしても介護保険の報酬体系に合わせ完全個室にして独立性を高め、居住性を改善したいと考えました。

変更に伴う建築工事につきましては、2月から2ヶ月間ショートステイの利用定員を20名から12名に減員し、その空き部屋を利用して順次Aユニットからのユニットごとの工事を予定しています。ユニット型特養としての利用開始は23年4月1日からとなります。

工事によりボランティア活動にも若干、影響があると思いますが、分かり次第詳しい予定をお知らせします。ボランティアの皆様、今後のキートスホームの安定したケアサービスの提供と運営にご理解とご協力をお願い申し上げます。

## 講演会のお知らせ



## 「ボランティアと共に作り上げる コミュニティー型施設の さらなる発展を目指して」

日時：2月19日（土）13:30～16:00

場所：キートス DH 食堂

講師：大原一興（横浜国立大学建築学教室）

多くのボランティアさんの参加を  
お願いいたします。

キートスホーム主催、悠遊倶楽部（家族会）共催で行います。キートスのコミュニティー型施設としての新たなる展開を目指し、住宅、施設、町づくりなどの生活環境を研究されている大原先生を講師に迎え、今後の地域社会、キートスホームのあり方を考えます。多くのボランティアさんの参加をお願いいたします。

『施設に入居されている  
高齢者が、普通に地域の  
中で過ごす時間がある。  
その場所に、地域の住民が  
足を運び、自然な交流が生  
まれる』

こんな出来事が地域の中で、  
普通にある社会は、どんな  
社会でしょうか。